

(報告 澤田 薫)

	先	次	中	副	大	勝	本
志染	平井	安福	栗田	金井	木下	0	2
		メ		コ			
高砂	メメ	ココ		メ	メ	3	7
	村上	大西	西村	八木	白山		

	先	次	中	副	大	勝	本
志染	平井	安福	栗田	金井	木下	2	3
	不戦勝			コ			
香寺		メ				1	1
		小林	小松	平田	高橋		

寺尾航平(三木高) が個人戦準優勝

第49回県高校東播地区総体剣道大会結果

去る10月4日(土)、5日(日)、東播地区総合体育大会剣道大会が県立農業高等学校で開催された。

【個人戦試合結果(姓のみ)】

- 男子：10月4日(土)
 - (三木)浅井、森本、亀園：初戦敗退、寺尾：準優勝(県大会出場)
 - (三木北)中谷、竹内、谷淵：初戦敗退
 - (吉川)十都：初戦敗退
- 女子：10月5日(日)
 - (三木)大田：初戦敗退、内村：2回戦進出
 - (三木北)森澤：初戦敗退、藤田：2回戦進出
 - (三木東)上野、佐々野、金谷：初戦敗退
 - (吉川)下川：初戦敗退

《解説》：個人戦は昨年度よりやや少ない男子96名(昨年100名)、女子68名(同72名)が参加して行われた。男子は本命不在の中、高尾(明石)×加藤(小野工)、寺尾航平(三木)×寺尾拓(小野)の4名が準決勝に進出した。一方は高尾(明石)が勝ち、もう一方は志染の寺尾対決は、寺尾航平(三木)が見事なメンで寺尾拓(小野)を降して決勝に進出した。決勝は

連戦で疲れが出たのか、寺尾航平の動きにキレがなく、一本目はメンに行ったところを返されてドウあり。2本目は動きが止まった一瞬の隙をつかれメンを取られ敗退した。最後に負けはしたものの、これまでの実績や練習環境を考えればよく健闘したといえる。

女子個人は春の大会で三木東高の杉正が優勝している。杉正に続く結果を期待したが、選手層が薄く県大会出場権獲得(ベスト16以上)はならなかった。ただ、1年生ながら団体戦、個人戦と東播の上位選手と互角に戦った三木高の内村に今後期待したい。

【団体戦試合結果】

- 女子団体戦：10月4日(土)
 - 【予選リーグ】
 - 三木1―4播磨南、三木0―2加古川南、三木0―4加古川東(リーグ4位)
 - 三木東0―5西脇、三木東0―5明石(リーグ3位)
 - 男子団体戦：10月5日(日)
 - 三木北0―5明石、三木北2―3明石北、三木北0―4西脇工
 - ※リーグ4位
 - 三木4―1小野工、三木1―2東

播工(1勝1敗)
※リーグ1位(内容により)県大会出場権獲得

【決勝トーナメント1回戦】
三木1―1北条(代表戦で敗退)
※ベスト8

【解説】団体戦は部員不足から5名揃っているのは三木高の男子のみで、その三木高も一人は初心者ということもあり、戦う前から苦しい状況であった。(三木高の女子、三木北高の男子は部員外の助っ人を入れて3名で出場)

そのような中、三木高の男子が僅差で予選リーグを1位通過し、決勝トーナメント進出を決めた。三木高は春に続く入賞がかかった決勝トーナメント1回戦、惜しくも北条高に代表決定戦で敗れ連続入賞はならなかった。

次の大会は11月の県新人大会。これからの時期、学校の中間テストを挟むため練習に工夫が必要だが、「昨年以上の成績」を目標に1か月間で少しでもレベルアップして臨みたい。なお、11/7・8・9の県大会(於高砂)への出場者・学校は以下の通り。
男子個人：寺尾航平(三木)
男子団体：三木高校
女子団体：三木東高校、三木高校(参加校が少なく出場可)
(報告 武中敏彦)

平成26年度第49回三木市中学校 新人体育大会剣道の部 結果

平成26年9月27日(土)三木市立三木中学校体育館において、第49回三木市中学校新人体育大会剣道の部が開催されました。

三木市剣道連盟から小紫邦夫様・高橋洋三様・森下哲次様を来賓に迎え、小椋治朗審判長をはじめ9名の審判員の先生に来ていただきました。開会式で、小椋審判長から試合前の練習で元気が無かったことを挙げられ、気迫のこもった試合を期待しますと檄を飛ばしていただきました。

参加選手は、三木中学校10名・自由が丘中学校3名・三木東中学校1名の計14名で、そのうち女子は2名だけの参加でした。

★男子個人予選リーグ

決勝トーナメント戦

- Aリーグ
- 1位 越智悠介(三木中)
 - 2位 木村悠人(三木中)
 - 3位 深見蓮(自由中)
 - 4位 岩居泰忠(三木中)
- Bリーグ
- 1位 日高龍世(三木中)
 - 2位 福山裕三郎(三木中)
 - 3位 西川涼季(自由)
 - 4位 稲田康太(三木)

Cリーグ

- 1位 清水克哉(三木中)

- 2位 藤井柀伍(三木中)
- 3位 糸 武志(三木中)
- 4位 大西巧真(自由)

各リーグ上位2名が決勝へ

《決勝トーナメント1回戦》

【第1試合】

福山 コー 藤井

【第2試合】

日高 メメー 木村

【準決勝第1試合】

越智 メー 福山

【第2試合】

日高 メメー 清水

【決勝戦】

越智 ーメメ 日高

優勝 日高龍世(三木中)

準優勝 越智悠介(三木中)

3位 福山裕三郎(三木中)

清水克哉(三木中)

★女子個人戦

岸本梨弘 コー メコ 加村仁奈

優勝

加村仁奈

2位

岸本梨弘

剣道指導者講習会 開催される

去る9月4日(土)10時〜16時、加佐コミュニティスポーツセンターにおいて、剣道指導者研修会が剣道教士8段伊藤明裕先生を講師に開催された。参加者は成人25名、高校生15名の計40名。西岡伸泰成人指導部長が司会進行を務めた。神澤正輝会長の後、伊藤先生が午前10時15分から30分間実技指導を行った。



実技指導では、踏み込み足での正面打ち、切り返し的重要性など、分かりやすく示範をされながら解説された。

また、二人一組で木刀による剣道基本技稽古法の実技指導を受けた。参加者は、少年に指導する際のポイントを、伊藤先生の分かりやすい説明と自らの実技を通して学び取ることができていた。



午後の部は、13時から約2時間、審判法の実技講習を行った。参加者は三人一組になり、実際に高校生の試合を審判しながら指導を受けた。

伊藤先生は、審判の動きに目を配り、主審と副審の位置取りや審判の一挙手一投足について、そして



て技の見きわめについて、試合の途中で一端ストップをかけては、「あなたが有効だと判断した条件は？」「皆さんは今の有効打突だと思われませんか？」などと、審判員とともに、参加者の意見も聴きながら解説され、審判の最大の留意点は有効打突を見逃さないことだと強調されていた。全員がもれなく審判を行い、休憩後、40分間伊藤先生はじめ高段者が元に立つての地稽古を行った。

終了後の懇親会では、和氣藹藹(わきあいあい)、剣道よもやま話で大いに盛り上がった。

(報告 澤田 薫)

「西本、頼んだぞ！」 対住友電工 代表決定戦

第61回兵庫県剣道優勝大会(一般の部) H26・11・23王子スポーツセンター

「三木市A、代表戦。西本！」と、松本克基監督兼キャプテンは告げた。「第61回兵庫県剣道優勝大会(一般の部)兼第68回兵庫県民体育大会(剣道競技)」の第2回戦、対「住友電工チーム」との代表決定戦の時である。



あっぱれ3回戦まで進出の三木市Aチーム

我が三木市剣道連盟は、今年もAB2チームを派遣したが、三木市Aチームは、1回戦、県警神戸西署のチームを5-0で一蹴し、2回戦に進出していた。北須磨剣修会を下して2回戦に勝ち上がった「住友電気工業株式会社伊丹製作所」のチームは、全員が若く、平均年齢27歳、最年長の副将でも36歳である。皆若いうえに、大学

・高校で剣道部に所属し、活躍した選手たちであって、皆若々しかった。対する我が三木市Aチームは、平均年齢36歳、特に選手兼監督の松本克基はすでに48歳に達している。

この日、三木市Aは、若手が張り切っていた。先鋒栗田、次鋒西本が引き分けた後、中堅金井秀幸が「本負けした後、副将松本引き分け、大将決着となった。今年6段に昇段したベテラン小林隆仁は40歳に達したベテラン。相手大将寺井健(31歳)を開始間もなく得意のコテで先取したが、取り返され



気迫十分の次鋒西本選手

タイに。しかし、執念に燃える小林は思いがけない片手突きをくり出し、それが見事に決まったため、2本対1本で勝ち、勝者数1-1、総本数3-3で代表戦となった。

池田公律先生(元三木市剣道連盟指導顧問、現兵庫県剣道連盟専務理事)始め、多くの先生方がベテラン、大将の小林隆仁と思いきや、松本監督はためらわず、「代表、西本！」と宣告。相手山田選手(24歳)との代表決定戦となった。その時、松本監督の胸に去来したのは、故安栖先生の遺言ではなかったか? 「三木生え抜きの若手を育てたい」が安栖先生、松本監督の共通の目標だったからだ。

さて、その西本英一郎である。この日誰よりも責任感を感じ燃えていた西本は、次鋒戦では再三惜しい場面でポイントが上げられなかった。代表選では終始冷静で、相手コテを返してメンに決め、大



大将として活躍した小林選手